**令和4年8月２５日**

**各高齢者施設・事業所管理者　様**

**松山市保健福祉部　介護保険課長**

**「保健・医療のひっ迫回避」と「感染回避のための対策強化」**

**について（お願い）**

**愛媛県は、深刻な医療ひっ迫を受け、8月末を期限とした「BA.5対策強化宣言」を延長・強化し、人との接触の機会を減らすような行動制限などを求める「BA.5医療危機宣言」を発出しました。（令和4年8月23日（火）から9月16日（金）まで）**

**お盆明けの感染の加速や医療従事者の感染などに伴うマンパワー不足により、医療が危機的状況にあり、県独自の警戒レベル「特別警戒期間」の最終段階と位置付けられています。**

**皆様には、これまで以上に強いお願いとなりますが、「保健・医療のひっ迫回避」と「感染回避のための対策強化」について、ご協力をお願いします。**

**１　感染を減らすための行動変容**

**・一人ひとりが感染対策を強めて**

**・人との接触の機会を減らすため自ら行動制限を**

**・人と会う予定や出掛ける予定はできるだけ延期を**

**２　更なる対策の強化**

**（1）会食ルールを強化**

**・同一テーブル4人以下、テーブル間の移動なし、概ね2時間以内、**

**認証店を推奨**

**（2）イベント対策を徹底・強化**

**・市が関与する集客イベントなどは、ワクチン接種又は陰性の確認など**

**感染対策の徹底を前提とし、規模の縮小や内容を見直し。**

**可能なものは延期や中止**

**・民間主催の集客イベントも同様の対応を要請**

**（3）公共施設（スポーツ・文化活動施設）の貸出条件・管理を強化**

**・市管理施設の宣言期間中に利用する新規予約の受付停止**

**※感染対策を講じた興行に類するものを除く**

**・市管理施設の入場制限を徹底。特に混雑時の入場制限の強化**

**３　保健・医療ひっ迫への理解と協力**

**・症状に応じ適切な医療受診や救急車の適正な利用を**

**基礎疾患がない20代～40代の方は、発熱などの症状があっても、**

**市販薬の解熱剤などを服用するなど自宅で静養**

**・保健・医療の負担を軽減する新しい取り組みを利用**

**「陽性者登録センター」：20代~40代で、重症化リスクの低い軽症の方**

**「自主療養届出システム」：自己検査などで陽性になった無症状の方**

**「自宅療養者医療相談センター」：陽性確定診断を受けた自宅療養中の方**

**・早期のワクチン接種を**

**高齢者は、重症化リスクを防ぐため、ワクチンの種類を問わず4回目接種を**

**5～11歳のワクチン接種は、日本小児科学会も推奨しており、接種の前向きな検討を**

|  |
| --- |
| **【3回目ワクチン接種の発症予防効果】**  **※令和4年8月17日　国立感染症研究所公表**    **3回接種した人は接種していない人に比べ、**  **BA.5に感染して発症するリスクの低下**  **・接種後14日から3カ月までで65％**  **・3カ月以降でも54％** |